

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校について】

=====

Q 1 : 総合産業高校の特徴は何ですか。

A : 社会の変化や産業の高度化・多様化に伴い、単一の専門分野にとどまらない複数の専門分野の知識・技能を併せ持った人材が求められていることから、産業振興に貢献できるスペシャリストを養成するための新しいコンセプトの職業系専門高校です。

=====

Q 2 : 総合産業高校の良さはどんなところにありますか。

A : 異なる分野の複数の大学科（農業系・工業系・商業系・福祉系）を併設し、生徒が特定の学科に所属しつつも一定の範囲内で学科の枠を超えて科目を選択・学習したり、複数の専門学科の生徒が連携して共通の課題を学習・研究したりすることで、幅広い知識や技能が習得できます。

=====

Q 3 : 登米総合産業高校はどこにできるのですか。

A : 現在の上沼高校の敷地内に校舎を建設します。

=====

Q 4 : 登米総合産業高校の特徴は何ですか。

A : 県内初の総合産業高校として、地域の産業振興に貢献できるスペシャリストを養成する職業系専門高校として新設します。

地域密着型の学校として、地域との強いパートナーシップを構築し、地域連携や産学官連携の取り組みを通して各学科における専門性の深化を図るとともに、学科間連携の取り組みを通して、幅広い知識や技能を身に付けていきます。

また、住民の高齢化が進む登米地域では、福祉や介護分野の人材育成・確保が課題となっていることから、県内初の福祉科を設置し、国家資格である介護福祉士受験資格が得られるカリキュラムを編成しています。

=====

Q 5 : 校名はどのようにして決まったのですか。

A : 平成23年度に、一般公募によるアイデアをもとに、統合関係校の保護者、同窓会、教職員及び地元関係者による校名等選考委員会において、地元中学生の意見も参考にしながら複数の案をまとめ、最終的には宮城県教育委員会において校名案を選定しました。

校名の「登米」は学校の所在地を示し、「総合産業」は農業、工業、商業、福祉等の複数の職業系専門学科を置き、生徒が特定の学科に所属しながら一定の範囲内で他の専門学科の内容も学習できる今回の統合校の特色を端的に分かりやすく示しています。

なお、平成26年2月の定例県議会において「県立学校条例の一部を改正する条例」が議決されましたので、平成26年3月20日付けで校名が正式に決定いたしました。

=====

Q 6 : 校歌や校章はいつ決まるのですか。

A : 平成26年度に一般公募によるアイデアをもとに、校名等選考委員会で決定する予定となっています。

=====

=====
Q 7 : 制服はありますか。

A : あります。平成 23 年度に統合関係校の教職員を中心とした制服検討委員会を設置し、中学生や保護者等のアンケート調査結果も参考にして決定しました。平成 25 年度に上沼高校, 米山高校, 米谷工業高校に入学した生徒から新しい制服となっています。

=====
Q 8 : 登米総合産業高校は単位制高校ですか。

A : 学年制の高校です。

=====
Q 9 : 産業スペシャリストとは何ですか。

A : 登米総合産業高校では、専門的な知識・技術・技能を身に付けた上で、農業や工業, 商業などの単一の専門分野にとどまらない, 複数の専門分野の知識・技能をあわせ持った人材を産業スペシャリストと位置付けています。

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校の学習について】

Q10：登米総合産業高校のカリキュラムの特徴は何ですか。

A：学びのつながり（学科間連携）や地域とのつながり（地域連携）を大切にした学校設定教科「起業プロジェクト」を設定し、より実践的な職業教育を行います。

専門教科では、新しい学校の施設や設備を生かし、将来の登米地域の産業に貢献できる幅広い教育を行います。各学科における「専門性の深化」を図るため、地域企業や地元の方々との協力のもと、3年間継続してインターンシップを実施する方向で検討しています。単に専門知識を覚えるだけの教育ではなく、豊かな心を育てる視点を合わせ持って授業を行います。

普通教科では、将来の進路希望に対応した学力を身に付けさせるため、学力向上の基本となる数学や英語の習熟度別指導を授業の中で行ったり、義務教育段階の学力が十分に身に付いていない生徒に対して個に応じた指導を行い、義務教育段階の学力を確実に身に付けさせ、できる喜びを実感させる学習を展開します。

Q11：学校設定教科「起業プロジェクト」の具体的な内容を教えてください。

A：1年生では産業全般の基礎的事項を全学科共通で学習する「産業基礎（2単位）」、2年生前期には、他学科の特徴的、基本的な内容を選択して学習し、広い視野で自分の専門を見つめ直す「総合選択システム（1単位）」、2年生後期から3年生にかけて、異なる学科の生徒同士でグループを編成して研究に取り組む「起業実践（3単位）」を設定しています。

Q12：学校設定科目「産業基礎」の具体的な内容を教えてください。

A：産業全般についての基礎的事項や、職業生活の基礎となる知識・態度を身に付け、施設・工場見学や、地域の各専門分野の方の講演会等を通して、職業への幅広い興味・関心をもたせます。また、所属する学科以外の基本的な内容を学習し、2年生で実施する総合選択システムの科目選択の参考とします。

Q13：学校設定科目「起業実践」の具体的な内容を教えてください。

A：異なる学科の生徒同士が、身に付けた知識や技術、技能、志を持ち寄ってグループ研究に取り組みます。具体的には、地域企業の方々から地域に関連する課題や地域の資源を生かした「テーマ（課題）」を提示していただき、生徒たちが協力して調査・研究を行うことで社会に通用する適応力や実行力、社会性、コミュニケーション能力、プレゼンテーション力などを身に付けます。

Q14：「総合選択システム」とは何ですか。

A：所属する学科以外の専門科目を選択して学習します。興味関心の幅を広げ、広い視野で自らの専門分野の課題や有効性を再認識できるようにします。各学科とも学科の特徴的・基本的な内容を学習する学校設定科目を2科目設置し、生徒は興味のある科目を選択します。

Q15：教科書は特別なものを使うのですか。

A：基本的には文部科学省検定の教科書を使用しますが、学校設定科目である「産業基礎」や「起業実践」、総合選択システムの学校設定科目については、学校独自の教材を作成して使用します。

=====
Q16：授業の進め方で「TT方式」とはどんな方法ですか。

A：「TT」とは、「チームティーチング」の略称です。2名以上の教員で授業を行う方法です。主に実習科目で行いますが、数学や英語の普通教科でも実施します。実習時における安全面の確保や、学習進度に応じたきめ細やかな指導が展開できる等のメリットがあります。

=====
Q17：「少人数学習」や「習熟度別学習」は実施しますか。

A：農業や工業などの専門学科の実習では、生徒が施設設備を有効に活用し、効率よく実習を行うために「少人数学習」を実施します。また、数学や英語、商業科では、学んだ知識を活用したり、理解力を深めるための「習熟度別学習」を実施します。

=====
Q18：学校の授業だけで勉強についていけますか。

A：学校の授業を基本として、予習・復習をしっかりと行っていれば心配する必要はありません。

=====
Q19：学校の勉強だけで専門性は身に付きますか。

A：各学科とも実習を多く取り入れ、地域の企業と連携しインターンシップを3年間継続して行うなど、専門性を深化させる取り組みを検討しています。福祉科では、介護福祉施設における介護実習を3年間で13単位（約60日間）実施します。それ以外の学科においても、専門科目の基礎的内容から実習まで幅広く学習に取り組み、専門性を身に付けます。

=====
Q20：勉強に後れをとっている生徒への対応として、どんなことを考えていますか。

A：知識に対する理解が十分でない生徒に対しては、義務教育段階の学び直しを行い、あわせて学習習慣の定着を図る指導を行います。長期休業中の指導や、個別に指導を行うこともあります。

=====
Q21：平日の授業はどのように展開されますか。

A：授業の1単位時間は50分で行い、1日6時間授業になります。
なお、実習は2～3時間連続して行い、学習効果を高めます。

=====
Q22：土曜日は休みですか。また土曜日や夏季休業中に活動があるとすればどのような内容ですか。

A：土曜日は原則休みになります。土曜日や長期休業中は主に部活動に取り組みます。文化祭などの学校行事や、資格取得のための講習会なども実施する予定です。

=====
Q23：産業スペシャリストになるために、カリキュラムの上でどんな特徴がありますか。

A：所属する学科の専門性を深めるために、通常の授業に加えて、地域企業と協力して行うインターンシップや、学科間連携をねらいとした総合選択システム、起業実践などの科目を取り入れています。

=====
Q24：既存の高校の「インターンシップ」との違いは何ですか。

A：3年間を通して「各学科主催のインターンシップ」を実施することで、より一層専門性を深めていきます。また、2年生の「修学旅行時のインターンシップ」や就職希望者による「キャリアインターンシップ」など、これまで取り組んできたインターンシップも継続して実施することを検討しています。

=====

=====
Q25：定期テストや実力テストは年に何回実施しますか。

A：定期テストは年4回（6月・9月・11月または12月・2月）、実力テストは年3回（長期休業明け）実施します。

=====
Q26：卒業に必要な単位は何単位ですか。

A：

学 科	総単位数	卒業に必要な単位数	備 考
農業科	93	85	放課後や長期休業中に3単位の実習有
機械科	90	82	
電気科	90	82	
情報技術科	90	82	
商業科	90	82	
福祉科（介護類型）	97	89	長期休業中に7単位の介護実習有
福祉科（福祉類型）	92	84	長期休業中に2単位の介護実習有

なお、福祉科介護類型は、定められた専門科目全てを習得できなければ介護福祉士の受験資格は得られません。

=====
Q27：新しく福祉科や商業科が設置されますが、図書館内の蔵書は学科に対応した内容になっていますか。

A：新たに商業・福祉に関する専門学科関連の図書を購入する予定としており、専門学科の学習に対応した蔵書を揃えることとしています。

=====
Q28：総合的な学習の時間がないのはなぜですか。

A：高等学校学習指導要領により、科目「課題研究」（福祉科にあつては「介護総合演習」）の履修をもって、総合的な学習の時間における学習活動に替え、単位を認定する予定としております。

=====

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校の学校生活について】

=====
Q29：全県一学区ですが、寮の設置やスクールバスを運行する予定はありますか。

A：寮の設置やスクールバス運行の予定はありません。

=====
Q30：学校までバイクで通学することは可能ですか。

A：定められた条件（学年、距離、部活動）を満たせば、希望する生徒は通学することが可能です。

=====
Q31：通学のための公共交通機関にはどのようなものがありますか。

A：登米市民バスがあります。現在、登米市民バスの路線や時間について、通学の利便性の向上を図っていただくよう、登米市と調整中です。

=====
Q32：統合関係校の生徒で一番遠くから通っている生徒はどこから通っていますか。

A：栗原市若柳・一関市花泉（上沼高校）、栗原市高清水（米山高校）、気仙沼市（米谷工業高校）などです。

=====
Q33：1クラスの人数は何人ですか。また、クラス替えはどうなりますか。

A：1クラス40人定員です。基本的にクラス替えはありません。

=====
Q34：携帯電話に関してどのようなルールがありますか。

A：「校内における携帯電話等の通信機器の使用については、常にマナーモードにして利用を控え、授業中は電源を切ること」と定めています。

=====
Q35：授業の開始、終了時刻と部活動の終了時刻はどうなりますか。

A：8時35分登校、朝読書、ホームルームがあり、9時から1校時を開始します。6校時終了が15時20分で、その後清掃、放課後学習、ホームルームがあり15時50分に放課となります。部活動の終了時刻は18時となっています。

なお、現在登米市民バスのダイヤ調整を行っており、授業開始・終了時刻については、今後変更することがあります。

=====
Q36：修学旅行はどんなことをねらいとして実施しますか。

A：見聞を広め、集団生活における規律を守るなどの一般的なねらいに加えて、専門高校の特色を生かした施設見学や、インターンシップなどを検討しているところです。

=====
Q37：部活動には必ず入らなければならないのですか。

A：全員がいずれかの部活動に加入することになります。部活動を活性化させていきます。

=====

=====
Q38：どのような部活動を開設しますか。

A：運動部は、硬式野球・陸上・アーチェリー・バドミントン・ソフトボール・ソフトテニス・バレーボール・卓球・サッカー・弓道・バスケットボール・柔道・剣道・空手道の14部です。硬式野球とサッカー以外は男女とも設置します。

文化部は、家庭（調理）・芸術（美術，写真）・音楽（吹奏楽，合唱）・福祉（ボランティア）・伝統芸能（茶道，華道）・文芸・工業・商業の8部を設置します。

=====
Q39：部活動については、どのような活動を目指すのですか。

A：各部とも、東北大会，全国大会出場を目標にして，地域の誇りとなる活躍を目指します。

=====
Q40：平成26年度の部活動はどのような活動を行いますか。

A：統合関係校の部活動の種目や人数により，合同チームによる大会出場や合同練習を行い，平成27年度にはスムーズに新チームでスタートできるようにします。

=====
Q41：学校行事はどのようなものがありますか。

A：生徒総会・芸術鑑賞会・体育祭・文化祭・学習成果発表会などがあります。

=====

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校の進路指導について】

=====

Q42：進路目標の達成のために、特別な指導は行いますか。

A：進学については、進学先によって必要となる受験科目や応募条件が異なりますので、希望する生徒には個別指導を行います。就職については、面接指導や就職試験対策に向けての指導等を行います。

=====

Q43：どんなところに就職できますか。

A：これまでの上沼高校・米山高校・米谷工業高校で実績のある企業に加えて、商業科や福祉科で学んだことが生かせる就職先を斡旋していきます。

=====

Q44：大学には進学できますか。

A：ほとんどが推薦入試になりますが進学は可能です。専門科目に重点をおいたカリキュラムを編成していますので、一般入試を目指すのであれば希望する進学先に必要な学習内容を確認し、方向性を定めた上で個別に対応します。1年生の早い時期に担任や進路指導部に相談してください。

=====

Q45：どんな大学に進学できますか。

A：統合関係校においては、農業科では、宮城県農業大学校や岩手県立農業大学校等への進学実績があります。工業系学科では、石巻専修大学、東北学院大学、東北工業大学、ものづくり大学、日本大学、商業科では、石巻専修大学、東北学院大学等に進学しています。福祉科は、宮城大学、岩手県立大学、東北福祉大学、東北文化学園大学等への進学が想定されます。

=====

Q46：各学科の大学合格者は何人ぐらいいますか。

A：各学科10人以上の大学・短大合格を目標としています。

=====

Q47：学校の勉強だけで大学受験に対応できますか。

A：推薦入試やAO入試では、学校の勉強をしっかりと行い、成績等が大学の出願条件を満たしていれば十分に可能です。また、資格を取得していることで有利になる大学もあります。

=====

Q48：資格取得に向けた指導はどのようになっていますか。

A：専門性を生かした資格取得に必要な講習会を各種検定前に実施します。

=====

Q49：登米総合産業高校になっても、現在の統合関係校の進学先・就職先は確保できますか。

A：生徒の希望に応じた就職先を斡旋できるよう検討します。

=====

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校の入学者選抜について】

=====

Q50：どのような生徒に志願してほしいですか。

A：① 本校の教育内容を理解し、新しい学校づくりに意欲的に取り組む生徒。
② 産業界をリードする職業人となることを目指して、何事にも積極的にチャレンジする気持ちと高い志を持っている生徒。
③ 基本的な生活習慣が身につけており、学習成績が良好で、入学後も学習や部活動に粘り強く取り組める生徒。

=====

Q51：募集定員は男女別ですか。

A：各学科とも男女の別はなく、40名定員となっています。

=====

Q52：学区や、通学時間の制限はありますか。

A：特に制限はありません。

=====

Q53：遠方の受験者は条件が不利ですか。

A：受験に関して、有利・不利はありません。

=====

Q54：入学者選抜はどのような方法で行われますか。

A：前期選抜は、中学校からの調査書、その他必要な書類、国語・数学・英語の3教科の学力検査、学校独自検査（個人面接）の結果に基づいて総合的に審査します。
後期選抜は、中学校からの調査書、その他必要な書類、国語、数学・社会・英語・理科の5教科の学力検査の結果に基づいて総合的に審査します。

=====

Q55：入学者選抜の会場はどこになりますか。

A：上沼高校を会場に実施する予定です。

=====

Q56：選抜に備えて身に付けておかなければならないのは、どのようなことですか。

A：明確な志望動機と基本的な学力、基本的な生活習慣を身に付けておいてください。

=====

Q57：好奇心や探究心は備えていますか、中学校の学習だけで足りるますか。

A：中学校の学習をしっかり身に付けておけば、入学者選抜には十分対応できます。

=====

Q58：前期選抜の面接の時間と実施方法を教えてください。

A：個人面接で、時間は一人10分程度です。

=====

=====
Q59 : 検査中，体調が悪くなり退室した場合，回復後，検査は続けて受けられますか。

A : 受けることはできますが，状況によっては別室で学力検査を受けることも可能です。

=====
Q60 : 学校説明会は実施しないのですか。

A : 平成26年8月2日（土）に中田アリーナを会場にして，オープンスクールを実施する予定です。

=====
Q61 : 試験結果等に対する情報公開はどのように考えていますか。

A : 合格発表の翌日から1ヶ月間，簡易開示により，受験した各教科の点数を開示します。
ただし，前期選抜については，後期選抜の合格発表の翌日を起算日とします。

=====

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校の施設について】

Q62：新校舎完成時期はいつ頃の予定ですか。

A：平成27年3月の完成予定です。

Q63：新校舎の概要を教えてください。

A：建物は校舎・体育館のほか、実習棟など実習に必要な施設や部室なども整備します。
また、グラウンドは陸上・サッカー用（第1）、ソフトボール用（第2）、硬式野球グラウンド（第3）の3面と、そのほか弓道場なども整備する予定ですが、テニスコートについては現在の上沼高校の既存施設を使用します。

Q64：新校舎の特徴は何ですか。

A：福祉・農業・機械・電気・情報技術・商業の各学科の実習に必要な施設のほか、登米総合産業高校ならではの「総合産業教室」が4室（講義室1・特別教室3）あります。
特に、講義室については267名収容の階段教室で冷房設備もあります。また、将来的には地域の方々へも授業に支障のない範囲で開放していきたいと考えています。

Q65：校舎の耐震性やシックハウス問題について、具体的な対策を教えてください。

A：校舎などの建物の耐震性については、現在の建築基準法等の基準を満たすように設計されています。
また、シックハウスについても工事完了後に厚生労働省で定めた基準に基づき室内の化学物質の検査を実施し、基準値以下にならないければ建物の使用が出来ないことになっています。

Q66：新校舎に冷房設備はありますか。

A：情報処理室など一部の実習室や図書館などには、冷房設備がありますが、普通教室には冷房はありません。

Q67：食堂はありますか。

A：食堂はありませんが、売店と自動販売機を設置する予定です。

Q68：新校舎には様々な設備が整っていると思いますが、防犯面の対応はどのようになっていますか。

A：夜間及び休日などは警備会社による機械警備を行う予定です。

Q69：校舎内の見取図をHP上で公開してほしい。

A：現在工事中のため、詳細な配置図面等は公開出来ませんが、敷地のレイアウト図を公開するよう検討いたします。

=====
Q70 : 第3グラウンドはいつから使えるのですか。

A : 平成27年4月から使用出来るように今後工事を行う予定です。

=====
Q71 : 平成27年度は、グラウンドや体育館は使用できるのですか。

A : 校舎・体育館などの建物は平成27年4月の開校から使用出来る予定ですが、部室などの一部の建物と第1、第2グラウンドについては、平成28年度から使用開始になる予定です。

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校の経費について】

=====
Q72：入学者選抜や進学に際して必要な経費はいくらですか。

A：入学者選抜を受ける場合、手数料として2,200円必要です。手数料は、前期選抜、後期選抜、第二次募集すべて同額となります。入学時には入学金として5,650円必要です。入学者選抜手数料及び入学金の納入は、宮城県収入証紙により納入します。なお、金額は現在の額で、改正されることもあります。

=====
Q73：入学年度にかかる経費はどのくらいですか。

A：必要経費については、新しい学校の教育内容を基に、現在検討しています。
統合関係校の平成26年度入学生の徴収額及び平成27年度の予定額は以下のとおりです。（参考）

	上沼高校	米山高校	米谷工業高校			備考
	農業技術科	園芸 ビジネス科	機械 システム科	電気 システム科	情報技術科	
制服 体育着 靴 実習着等	80,858	80,048	74,788	74,788	74,788	
教科書 副教材	11,400	11,720	21,474	22,439	20,874	
教材費	39,230	37,000	54,300	72,300	50,400	
団体費	30,400	30,400	30,400	30,400	30,400	平成27年度予定
合計	161,888	159,168	180,962	199,927	176,462	

・授業料 118,800円

※ 保護者の年収が基準以下の場合「就学支援金制度」が適用され、実質的な授業料負担は生じません。

=====
Q74：修学旅行の日程・経費と、毎月の積み立てはそれぞれどのくらいになりますか。

A：宮城県教育委員会で定めている「県立学校の修学旅行実施基準」の経費の標準は、88,000円です。ただし、海外修学旅行については、155,000円となっています。日程、方面等については、入学後に保護者へのアンケートを実施し、決定します。

=====

よくある質問 ～Q&A～

【登米総合産業高校のその他について】

=====
Q75：3校が統合することで、どの様な変化が考えられますか。

A：3校の統合により生徒数が増えますので、学校が活性化します。また、教員数が増えることにより教育の幅が広がり、学科間連携の取り組みなど他学科の内容も学習することができるようになります。

部活動については、これまで人数が少ないために活動休止状態にあった部活動を再開するなど、活性化が期待できます。

就職についても、統合関係校の求人票をお互いに共有するなど、幅広い選択が可能となります。資格取得に関しても学科を超えて効率的な指導が可能となります。

=====
Q76：公開授業などの研究会を行う予定はありますか。

A：現在も統合関係校では公開授業等を行っておりますが、今後も学校の教育力の総合的な向上に向けて実施したいと考えています。

=====
Q77：PTA組織はどうなるのですか。

A：上沼高校、米山高校、米谷工業高校のPTAを統合し、平成27年4月に登米総合産業高校PTAを設立するため、平成26年度準備組織を設立して検討します。

=====
Q78：同窓会組織はどうなるのですか。統合関係高校の同窓会と統合するのですか。

A：現在、統合関係校の同窓会と調整を行っているところです。

=====
Q79：精神面をサポートするような人員の配置などはあるのですか。

A：統合関係校では、月2～3回程度の割合でスクールカウンセラーが来校し、生徒や保護者の相談に対応しています。登米総合産業高校においても、日ごろから、担任や学年主任等に生徒保護者が気軽に相談できる体制を整えるとともに、必要に応じてスクールカウンセラー等との相談ができる体制を整えてまいります。

=====